
今日ありや明日もあるんじゃない？

シェン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今日ありや明日もあるんじゃない？

【Zマーク】

Z6050A

【作者名】

シン

【あらすじ】

初の連載作品です。そして初コメディ作品です。コメディは描きなれてないので、いたらない所はありますがあくまでお願いします

回想

「回想」

「お父さんへん」

「何だ、娘よ」

「私そろそろ一人暮らししだね」

「何で？」

「いや…大学、東京だしさ」

「通えばいいじゃん」

「は？」「重なんですが…どうやって通えと？新幹線？新幹線ですか？」

「そんな屁理屈言つちゃつて。父さん騙されないぞ」

「いや、屁理屈も何もそれが真実なんですが？」「もしや…お前は父さんの事が嫌いなのか！？」

「いや、そういう問題じゃ

「パパはこんなにもお前を愛してるので…！」

「だからそうい

「パパのたつた一人の娘じゃないか…！」

「だが

「パパはそんな娘に育てた覚えは無い…！」

「…・・・・・・・・・・うつせえんじや、このクソ禿が…！私にも何か言わせろやボケが！大体あんた娘3人いるじゃねえか」「そんなこと言つちやつて、父さん怖い」

「…・・キモッ」

「今ちつさい声で『キモッ』とか言わなかつたか！？」

「ん～気のせいだと思うよ

とにかく私は東京へ一人暮らし生活」etc... Go～ だからね

…」

「何だその意味不明な言い回しは！！才能無えんだよーーとにかく一人暮らしは駄目・・・うわつ何だお前、何しやが・・・」

「回想終了」

第一話・東京行くのも大変だつて母ちゃん言つてた（前書き）

（はじめまして

作者兼ツツ「ミ兼その他のショソといい者です）

（作中では今みたいに、（）をつけて登場しています）

（見にくこと思つますが勘弁してください）

（この作品のジャンルは「メテイヒ」とになりますがあんまり
笑えないんで」「了承ください」）

（それどこのか、文章能力の無さにイライラするかと思いますが勘
弁してください）

（やうそろ小説の方に移ります）

（では、後書き）

第一話・東京行くのも大変だつて母ちゃん言つてた

うへん困つたな…

人多すぎだよ~

（）毎田津祭り（三重県最大級の祭り）でもしてるんかな~？

なんか人多すぎてスッ「こ不安なんですけど…

今からこんなんでどうするよ？私…

けどやつと、

アテラ スへ行き、波平ぱりの髪の毛をどうにかして増やそうとしたあげく、結局髪の毛が増えたどころか残った髪の毛でさえ死滅してしまう（どうしょもなくイタいオッサン（一応あんたのパパなんだからもつと優しくしてあげて！）から解放されるんだ！！

でも、

どうにかして自分の足を長く見せようとして、靴底が上がっている靴（50000円）を母さんのへソクリで買い、それがばれて母さんにボコボコにされてしまい、しかも靴底が上がつてるのがバレバレで、会社にいる部下から冷ややかな目で見られてしまつて、どうしようもなくイタいオッサン（パパをそんなに責めないであげて！…）

がこれからいなくなるとちよつと寂しいかもね…

い、いや！別に私ファザコンなんかじゃないからねー！
ただ父さんいないとちょい寂しいかな、てさ・・
だれに弁解してんだ私・・

それにしても・・・何なんだこの駅は！広すぎるんだよー。
何か聞いたこと無い駅だったし、ここなら迷わないかなって思つて
わざわざこの駅で降りたのに〜
もうホームの場所も分かんないし・・・どうしよう

まつたく

所沢駅つてやつは何なんだよー

(所沢つて埼玉県では?)

(その後彼女がどうなったかは誰も知らない···)

end

第一話・東京行くのも大変だつて母ちゃん言つてた（後書き）

おい、作者！

（何か用事？）

何終わり方最終回っぽくしてんの！？

（知らんよ。大体最終回になんてするわけないじゃん）

紛らわしいことしないでよ！最近ワキガが気になりだして脇になんか塗り塗りしてる奴が生意氣を！

（名前すらない主人公らしき変な女に言われたくないね）

私の名前決まってないの！？

（うん）

早く決めてよ！…連載進まないじやん

（その内決めるよ）

そろそろお礼言おいつよ

（だね）

（この小説を呼んでくれた皆様！ありがとうございます！グダグダな文章で読みにくくてすみませんでした！！

これからも作者は亀ペースで小説を更新してきたいこと思つてますのでこれからもよろしくお願いします！）

私の活躍ぶりもちゃんと見ててね

（（みんなの書く氣ねえつひとつ））

何か言った？

（別に）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6050a/>

今日ありや明日もあるんじゃない？

2010年10月17日02時56分発行